

実施計画書

広島県教育委員会教育長 様

市町教育委員会名 世羅町教育委員会

「令和2年度学力フォローアップ校事業」実施計画書を提出します。

1 実施期間

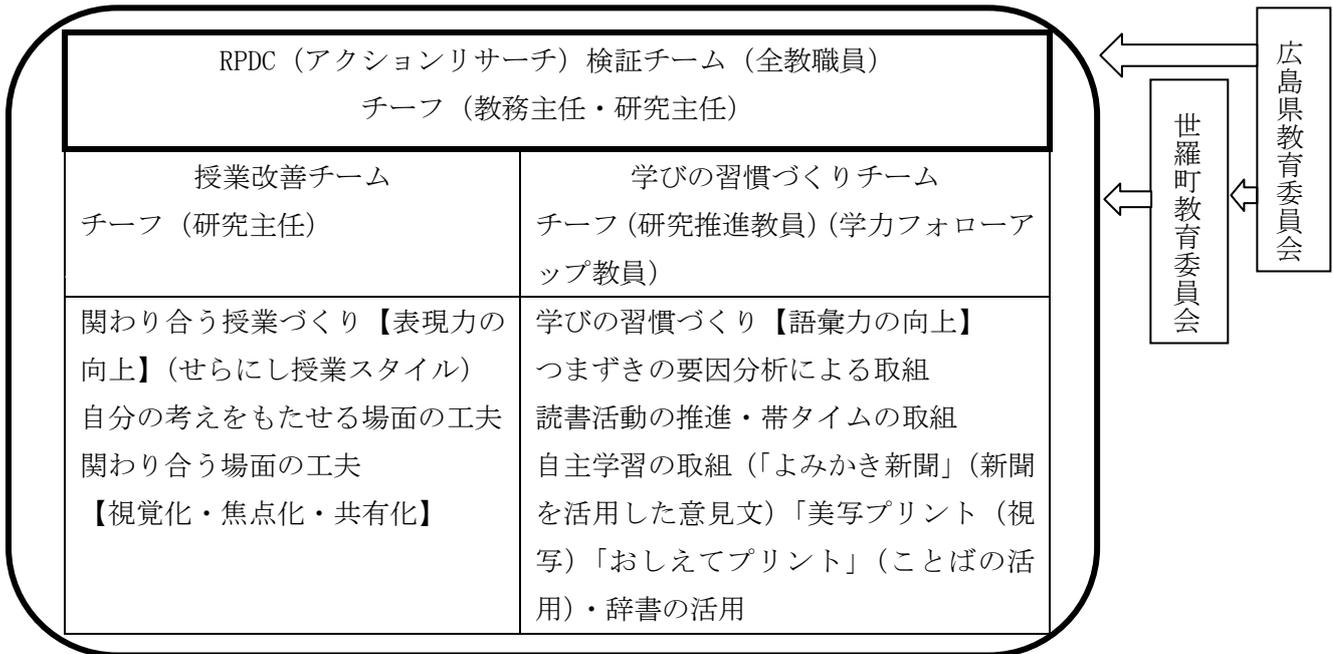
令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日

2 内容

(1) 指定校

| 学校名 | 校長名 | 研究推進教員 職・氏名 |
|-------------|-------|-------------|
| 世羅町立せらにし小学校 | 中野 智美 | 教諭 下井 ひろみ |

(2) 実施体制



(3) 学力に関する課題

- 全体的に語彙力が少なく、文章を正確に読み取ったり、段落相互の関係を考えたりすることに課題がある。
- 情報過多な問題では、問われていることが何かを理解できず、必要な情報を取り出すことに課題がある。
- 複数ある資料の情報を整理して内容を把握することやそれらに関連付けて考え、表現することに課題がある。
- 筋道立てて考え、自分の言葉で表現する力(表現力)に課題がある。

(4) 研究テーマ

主体的な学びの中で表現力を高める
 ～ 関わり合う授業づくりと学びの習慣づくりを通して ～

(5) 研究の具体的内容

| 番号 | 項目 | 具体的な取組の内容 |
|----|----------|--|
| ① | 学力調査等の分析 | <p>【学力分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度「標準学力調査」国語科・算数科の正答率は、全学年とも全国平均を上回った。＜基礎力＞＜活用力＞全国平均を上回った。概ね基礎力・活用力とも昨年度より向上しており、取組の成果は見られる。また、算数科において正答率 65%以下の児童数は、第4学年・第6学年で減少した。しかし、国語科において正答率 65%以下の児童が第4学年～第6学年は、増加している。また、正答率の低い児童が固定化している。 ○ 令和元年度「全国学力・学習状況調査」の正答率は、国語科では、全国平均を 12.2 ポイント、算数科では、全国平均を 6.6 ポイント上回った。しかし、国語科において正答率 40%以下の児童が一人いた。 ○ 以上の結果から、基礎的・基本的な学習内容は概ね定着しているものの国語科では文章を適切に読み取り、理由や事例を挙げて自分の考えを表現することに課題がある。算数科においても必要な情報を取り出し、関連付けて考え、分かったことを根拠に基づいて筋道立てて説明することに課題がある。正答率の低い児童が固定化しており、語彙の意味理解ができていない児童も多い。そのため、児童のつまずきの要因分析を丁寧に行い児童の学力のフォローアップを行うとともに、語彙力の向上に向けて取り組む必要がある。 <p>【授業改善・学びの習慣づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ RPDCC サイクルによる授業改善を推進する。 <p>【授業改善】 効果的な関わり合いの中で表現力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「課題発見・解決学習」を通して主体的な学びを育む。「せらにし授業スタイル」を実践し、教材との関わり、自己との関わり、他者との関わりを通して、表現力の向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・思考のツールを活用し、「自分の考えをもたせる場面」の工夫を行う。(視覚化・焦点化) ・「学び合い・伝え合う場面」の工夫を行う。(視覚化・焦点化・共有化) ・思考を深めるための発問の工夫を行う。 ○ 個に応じた指導の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・「個別の指導計画シート」を作成し、視覚化・焦点化・共有化の視点を取り入れた指導の工夫を行う。 <p>【学びの習慣づくり】 語彙力の向上に向けた取組を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読書活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班読み聞かせ会の工夫（第1学年～第6学年までによる読み聞かせ）感想の意見発表の工夫 ・保護者参加の読み聞かせ会の工夫（保護者を巻き込んだ意見発表の工夫） ・せらにし学区での「せらにし家族の日」の取組（保・小・中連携） ○ 朝・帯タイムの工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・詩・古典の朗読 ・つばきタイム（計算・読み取り・eラーニング・英語） ・さよならタイム（計算・漢字） ○ 家庭学習の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の取組—自主学習の手引きを配付（低学年「おしえてプリント」〔ことばのプリント〕・高学年「よみかき新聞」〔新聞を活用した意見文〕「美写プリント」(視写) の工夫) ○ 辞書の活用（全学年） |

| | | 教科等 | 指標 | 達成目標 | 検証時期 | 検証方法 |
|---|----------------|------------------|--|--|-----------|--|
| ② | 成果指標 | 国語科 算数科 理科 | 標準学力調査 正答率 40%未満の児童の割合 | 5%以下 | 6月 1月 | 標準学力調査 (第2学年以上) |
| | | 国語科 算数科 理科 | 標準学力調査 正答率 | 全国平均+2以上 | 6月 1月 | 標準学力調査 (第2学年以上) |
| | | 国語科 算数科 | 単元末テストにおける 目標点以上の児童の割合 | 【第1学年～第4学年】 80点以上 80% 【第5学年・第6学年】 75点以上 70% | 毎月 | 単元末テスト |
| | | 語彙力 | 「よみかき新聞」 (新聞を活用した意見文) 「美写プリント」(視写) 「おしえてプリント」 (ことばのプリント) 書く内容が向上した児童の割合 (対象児童) | 80% | 5月 11月 | 「よみかき新聞」 (新聞を活用した意見文) 「美写プリント」(視写) 「おしえてプリント」 (ことばのプリント) |
| | | 学習習慣・学習意欲 | 「自分から進んで勉強をしています」と肯定的評価する児童の割合 | 80% | 学期末 | 児童アンケート |
| | | 「課題発見・解決学習」 | 「授業では、自分の考えを相手に分かりやすく伝えるように表現しています」と肯定的評価する児童の割合 | 80% | 学期末 | 児童アンケート |
| | | | 「せらにし授業スタイル」を基に、関わり合いのある場面を設定した授業者の割合 | 100% | 学期末 | 授業者アンケート |
| ③ | 研究授業及び研究協議会の計画 | 第1回 | 9月9日 | 第6学年(算数科) | | |
| | | 第2回 | 9月23日 | 第5学年(国語科) | | |
| | | 第3回 | 9月30日 | 第2学年(算数科) | | |
| | | 第4回 | 10月14日 | 全学年 具体的手立ての見直し | | |
| | | 第5回 | 11月25日 | 公開研究会 | | |
| | | 第6回 | 12月9日 | 第1学年(算数科) 全学年 まとめに向けて | | |
| | | 第7回 | 1月20日 | 第3学年・第4学年(算数科) | | |

| | | |
|---|------------------|--|
| ④ | 成果の普及方法 | <p>公開研究会の実施（令和2年11月25日（水））</p> <p>① 研究授業（<u>する</u>，しない）</p> <p>実施予定の学年 （第1学年～第6学年，知的障害特別支援学級，自閉症・情緒障害特別支援学級 教科 算数科）</p> <p>② ○研究発表 ○協議会（低・高・特支） ・つまずきの要因分析に応じた手立ての工夫について（授業を通して） ・実践事例について ○講評 ○講話</p> |
| | その他 | <p>研究構想・報告リーフレットの作成 研究報告を学校ホームページに掲載</p> |
| ⑤ | 学力フォローアップ教員の活用方法 | <p>研究推進教員や学級担任等と連携し，特に「個別の指導計画シート」の対象となるような学力に課題のある児童への個別指導に当たる。また，語彙力向上に向けての取組を行う。</p> <p>◎勤務形態：2週間で38時間45分</p> <p>【1週目】（月・火・金） 10：10～14：00 大休憩・宿題確認，昼休憩・学び方指導，つばきタイム</p> <p>【1週目】（水） 12：50～16：40 昼休憩・学び方指導，放課後・学び方指導</p> <p>【2週目】（月・火・金） 10：10～14：05 大休憩・宿題確認，昼休憩・学び方指導，つばきタイム</p> <p>【2週目】（水・木） 12：45～16：40 昼休憩・学び方指導，放課後・学び方指導</p> |

3 実施担当者

| | | | |
|------|---------------|--------|-------------------------------|
| 所属部署 | 世羅町教育委員会学校教育課 | 電話番号 | (0847) 22-0548 |
| ふりがな | にしたに ゆきこ | FAX 番号 | (0847) 22-2766 |
| 氏名 | 西谷 由季子 | E-Mail | gakkou@town.sera.hiroshima.jp |
| 職名 | 係長兼指導主事 | | |